子 育 て 応 援 部 会

《第1回》

令和6年8月21日（水） 13:30～16:30

（会場） JA アズムホール2階小研修室～別館201号室

（参加者） 10名（部会メンバー8名・市町村2名）

構成団体名	所属	役職	氏名	備考
子育てネットワークみやざき	みやざき足育センター	代表	成田　あす香	
社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会	地域・ボランティア課	主幹	筒井　恵子	代理出席
宮崎県市長会	都城市こども部こども政策課	副主幹	吹上　慎一郎	
宮崎県町村会	国富町福祉課　児童福祉係	副主幹	那須　梢	
日本労働組合総連合会宮崎県連合会		事務局長	白﨑　洋一	代理出席
特定非営利活動法人みやざき男女共同参画推進機構	宮崎県男女共同参画センター	次長	外山　有美	
宮崎県農業協同組合中央会	総務企画部	課長	石川　美江	
宮崎県認定こども園協会	五十市認定こども園	保育教諭	野口　清香	

（市町村参加者）

市町村名	所属	役職	氏名	備考
宮崎市	子ども未来部子育て支援課	主事	三輪　透子	
小林市	こども課	主査	村岡　祐子	

（内　容）

1　主催者あいさつ・事業説明

（出逢い応援部会と合同）

※その後、子育て応援部会メンバーは別館201号室に移動

2　ファシリテーター紹介

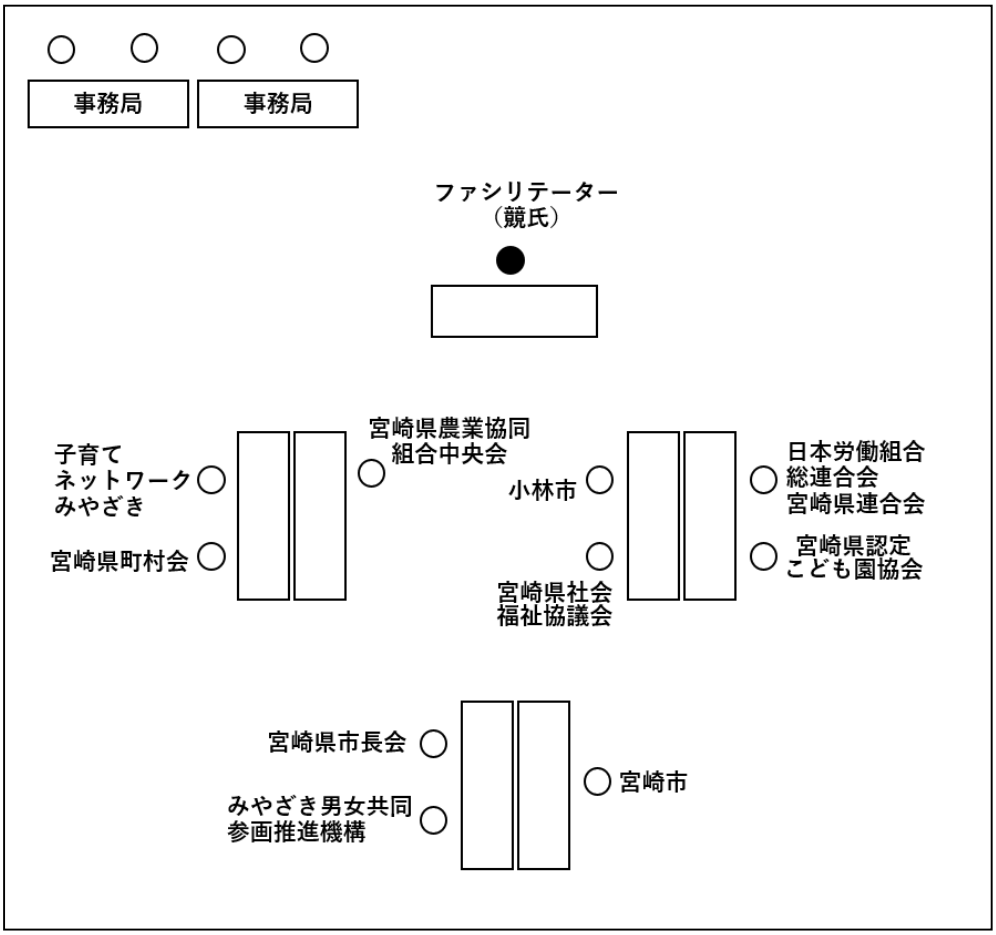
［ファシリテーター］ 競　朗子先生（Office MOTOHIRO　代表）

3　メンバー自己紹介

4　ミニセミナー「子育て環境、社会背景を理解する」

5　「2月までに取り組むことのプランをつくろう」 ワークショップ

3グループに分かれて今後取り組みたいこと（単独または連携して一緒に）を話し合い、シートに記入して、全員の前で一人ずつ発表。共有するなかで、一緒にできそうなこと、一緒に行うためのアイデアを出し合った。
各アイデアに対して、ファシリテーターからの評価やアドバイスをもらった。



［各メンバーから出された取組アイデア］

子育てネットワークみやざき	
フォーカスする大まかなテーマ	子どもの健全な発達環境を作ることのできる大人育て
現状はこう感じる	・スマホ育児　大人がスマホに意識が向いている ・働いていて子どもと過ごす時間が少ない ・子どもとの遊び方が分からない大人（親） ・子が失敗しないよう先に大人がレールを敷いてしまう ・五感を使わずメディアで疑似体験した気に ・安心して外遊びできる環境と仲間がいない（禁止の多い公園）

↓

こうなったらいいな	・子どもと本気で遊ぶ大人たち ・子どもの育ちファーストの社会づくり（人が人らしく生

	きられる） ・失敗 OK、安心してチャレンジできる自由な遊び、学びが尊重される

↓

具体的な取組のアイデア（案）	・子どもファースト 大人が手出し口出しを控えて、子どもの自由を見守る“機会”をつくる ・体（全身・手先 etc）を動かす遊びを楽しむ機会をつくる 親も子も本気で遊ぶ ・赤ちゃんから高齢になるまでの人の発達・健康づくりを学ぶ機会をつくる ・必要な睡眠、食・運動の確保 ・「人を育てる」ことを学ぶ機会をつくる→子育てにも仕事にも役立つはず‼

社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会	
フォーカスする大まかなテーマ	子どもの貧困、ヤングケアラー、生活貧困世帯
現状はこう感じる	・現状を知るきっかけが少ない ・支援が行き届いていない

↓

こうなったらいいな	・社会全体が課題としてとらえて取り組んでいく ・支援する人を育てる ・支援する仕組みをつくる

↓

具体的な取組のアイデア（案）	・現状を知ってもらう機会をつくる ・取り組む団体を支援する環境整備 ・支援する人の資質向上

宮崎県市長会	
フォーカスする大まかなテーマ	希望する人が安心して出産・育児ができるように、子育て世帯に必要な情報を届ける
現状はこう感じる	自治体の広報紙、専門誌、ホームページ、Facebook、LINE 等で周知しているが、子育て世帯には行き届いていない

↓

こうなったらいいな	子育て世帯が気軽にいつでも正しい子育て情報を手に入れられる

↓

具体的な取組のアイ	県内で共有できる情報を子育て世代に馴染みのある

デア（案）	SNS（Instagram）で情報発信していく

宮崎県町村会	
フォーカスする大まかなテーマ	この地域で子育てしたい！と思える環境づくり
現状はこう感じる	・児童館の利用者が少ない ・必要な人に必要な情報が届いていない ・子育て世代の声が聞こえづらい
↓	
こうなったらいいな	いい循環を作り出したい
↓	
具体的な取組のアイデア（案）	各世代に応じた子育てミーティングで実施可能なものからどんどん実現していく →子育て世代の意識が変わる（意見が聞いてもらえる）→子育てのしやすさが分かってもらえる→気持ちに余裕をもてるようになった→もう一人欲しいな→出産のいい循環ができるといいな

日本労働組合総連合会宮崎県連合会	
フォーカスする大まかなテーマ	・子育てのための各種制度への拡充と周知 PR ・育児相談窓口
現状はこう感じる	・夫婦共働きで子どもの病気等で預ける場所が少ない ・子どもの行事に参加できない ・どんな制度があるか分からない
↓	
こうなったらいいな	・いつでも預けられる場所の確保 ・コールセンター設置 ・子育てに関して平等になる
↓	
具体的な取組のアイデア（案）	・県から企業への働きやすい職場環境の依頼 ・テレビ CM、ニュース、SNS での発信

特定非営利活動法人みやざき男女共同参画推進機構	
フォーカスする大まか	呪いの言葉『家事・子育ては女性の仕事』を無くす

なテーマ	
現状はこう感じる	・家事・子育ては女性の仕事、男は家族を養う、子どものことは親の責任、少子化だから子ども産んで 少子化、人工妊娠中絶が多い、女性の検診率の低さ、自分のケアができない
↓	
こうなったらいいな	・若い人が子育てにプレッシャーを感じない ・子どもと子育て世帯を地域全体で見守っている ・子育て世代がアップアップしていない ・SOS が言いやすいお互い様の宮崎
↓	
具体的な取組のアイデア(案)	・男女共同参画・ジェンダー平等の視点を子ども・親世代・支援者に伝える ・女性の身体について知る ・包括的性教育を進める

宮崎県農業協同組合中央会	
フォーカスする大まかなテーマ	職員が子育てしやすい、働きやすい環境をつくる
現状はこう感じる	・労働時間が固定 ・子どもの成長に合わせた働き方ができない ・労働時間を変更すると収入が減少する
↓	
こうなったらいいな	・子どもの成長に合わせた働く時間、日の変更(9:00～16:00、週4日等の働き方) ・時間給の制度活用 ・男性の育休取得の向上
↓	
具体的な取組のアイデア(案)	・子育て職員の働きやすい制度の導入(収入減に対する国・県の助成) ・時間休の制度、男性の育休取得の啓発・周知

宮崎県認定こども園協会	
フォーカスする大まかなテーマ	母親がニコニコ笑顔で子育てができる環境
現状はこう感じる	・電子機器の普及により YouTube 等を長時間見せる親が増え、コミニケション不足を感じる。 （電子機器による子守増） ・長時間保育、不登校、不登園、発達障害等が増えていると感じる。

↓

こうなったらいいな	・正しい情報を保育士が専門知識をつけられる環境。 ・コミニケション能力の質を上げる。 ・親がつまづいたりしたら、保育士がサポートできる環境づくり。

↓

具体的な取組のアイデア（案）	・親子参観。両親が子供と一緒にご飯を食べたり、何かを作ったりすることで、お互いを理解する事ができると感じる。 ・子供に対する興味発信。 ・保護者同士の交流会。

宮崎市	
フォーカスする大まかなテーマ	子育てに関する情報を手軽に（簡単に）入手できるようにする
現状はこう感じる	行政が行っているサービスを知らない人が多く、利用できていない

↓

こうなったらいいな	サービスについて多くの人が知っていて、かつ利用してほしい人が利用している

↓

具体的な取組のアイデア（案）	・子育てに関する情報（サービス等）が一目でわかるようなものを作る 0歳児、1歳児向け等、分かれていたら見やすいかもしれない→メール、LINE 等で対象に向けて発信できるといい（〇〇児対象）

小林市	
フォーカスする大まか	子育て支援情報

なテーマ	
現状はこう感じる	婚姻時に渡す子育て応援 BOOK（市バージョン、県バージョン）が「必要

↓

こうなったらいいな	・もっと細かい情報 ・利用者からの本音の情報

↓

具体的な取組のアイデア（案）	子育て応援 BOOK の1年更新 ネットバージョンには利用者からの情報を掲載する（情報を寄せた方には子育てポイントを進呈）